

ミドルセレが中止又は不成立となった場合のセレ通過者選出方法について

東京大学

■ 代替案 1-2

男子に関してはインカレロング 2018 における各大学の 2019 年度枠獲得数に合わせてミドルセレ通過者数を比例配分する。免除者を含む各大学の実力に合わせて比例配分し、その後に免除者数分を差し引く。この場合、男子は推薦が 8 枠、女子の推薦が 7 枠となる。

[各大学に配分するミドルセレ通過枠数]

$$= \frac{[\text{各大学 ICL 枠獲得者数}]}{[\text{関東学連 ICL 枠獲得者数}]} \times [\text{関東のミドルセレ通過枠数}] - [\text{各大学ミドルセレ免除者数}]$$

* 小数点以下切り捨て、大学内で合算

男子	ICL2018枠 獲得数	各大学ミセレ 免除者数	代替案			代替案その1-2		
			-免除者数	×26/14	切り捨て	×26/18	切り捨て	-免除者数
東京	10	0	10	18.6	18	14.4	14	14
早稲田	2	1	1	1.9	1	2.9	2	1
横国	2	2	0	0.0	0	2.9	2	0
慶應	2	1	1	1.9	1	2.9	2	1
東工	1	0	1	1.9	1	1.4	1	1
筑波	1	0	1	1.9	1	1.4	1	1
一橋	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0
全体	18	4	14	26.0	22	26.0	22	18
推薦枠	-	-	-	0	4	0	4	8

女子	ICL2018枠 獲得数	各大学ミセレ 免除者数	代替案その1			代替案その1-2		
			-免除者数	×15/5	切り捨て	×15/8	切り捨て	-免除者数
筑波	3	1				5.6	5	4
茨城	1	1				1.9	1	0
千葉	2	0				3.8	3	3
フェリス	1	1				1.9	1	0
立教	1	0				1.9	1	1
実践	0	0				0.0	0	0
合計	8	3				15.0	11	8
推薦枠	-	-				0	4	7

補足：

ロング競技とミドル競技における各選手のパフォーマンスに相関があることは明らか。スプリント競技とロング競技の関係よりも競技性が類似しているためである。したがって、各大学にミドル競技で期待される結果を直近のインカレロングの成績から予測することは難しいことではない。

「選手権クラス出場者数の少ない大学*に不利である」という意見も生まれるだろうが、今回のインカレロングに関してはロングセレ 中止に伴いその大学*に機会が与えられており、各大学トップの実力者で枠をとることができないならばその大学に通過枠を配分することは学連の「枠を持ち帰れる実力者を選出する」という目的にそぐわないと思われる。